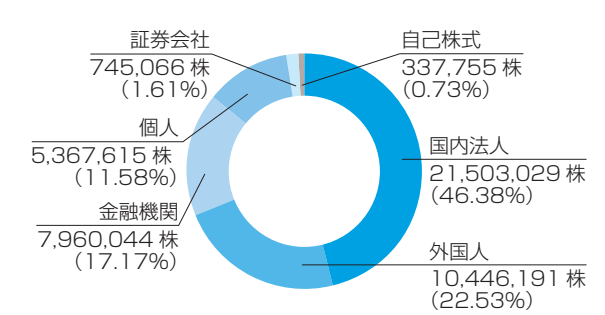


株式の状況(2023年3月31日現在)	
発行可能株式総数	101,568,000 株
発行済株式総数	46,359,700 株
株主総数	6,913 名

大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東ソー株式会社	20,379	44.28
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,190	9.11
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,317	5.03
D Z P R I V A T B A N K S . A . R E I N V E S T M E N T F O N D S	871	1.89
K B C B A N K N V - U C I T S C L I E N T S N O N T R E A T Y	870	1.89
S T A T E S T R E E T B A N K A N D T R U S T C O M P A N Y 505223	506	1.10
株式会社みずほ銀行	464	1.01
V I C T O R Y T R I V A L E N T I N T E R N A T I O N A L S M A L L - C A P F U N D	395	0.86
B N Y M S A N V R E B N Y M S A N V D U B R E L E G A L (A N D) G E N E R A L U C I T S E T F P L C	393	0.85
S T A T E S T R E E T B A N K A N D T R U S T C O M P A N Y 505253	379	0.82

※持株比率は自己株式(337,755株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



オルガノ株式会社

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8 経営統括本部 経営企画部 電話 03-5635-5111
当社ウェブサイト <https://www.organo.co.jp/>



株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子公告 公告掲載URL https://www.organo.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
連絡先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)

株式に関する諸手続のお申し出先について

■住所変更、配当金受領方法の指定、単元未満株式の買取請求及び買増請求などの株式の諸手続につきましては、お取引のある証券会社にお申し出ください。

■証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様の株式の諸手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社の全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)でお取り扱いいたします。



第78期 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日



オルガノ株式会社

証券コード：6368

経営理念

オルガノは
水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と
社会基盤の発展に貢献する
パートナー企業としてあり続けます

長期経営ビジョン

- 付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に、事業領域と展開地域を拡大し、産業と社会の価値創造と課題解決を推進する製品・サービスを絶えず提供します
- 昨日までのやり方を、明日に向けて、今日変える人をつくり、一人ひとりが働きがいと活力に満ちた企業を構築します

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第78期事業年度(2022年度)の概況をご報告申し上げます。

当期の世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻や米中摩擦など地政学的なリスクの影響が長期化し、景気の停滞感が強まりました。当社の主力市場である電子産業分野においては、一部顧客で減産や設備投資の縮小が見られたものの、台湾や日本、中国、マレーシアなどで半導体向けの設備投資が活発に推移しました。

このような市場環境のもと、当社グループは大型プロジェクトの受注・納入活動を進めるとともに、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、受注高、営業利益ともに2021年度に続いて過去最高を更新し、三ヵ年中期経営計画の最終年度である2024年度の目標を2年前倒しで達成することができました。

好調な業績を踏まえ、当期の期末配当金は1株当たり33円といたしました。当期の中間配当金116円は、昨年10月に実施した株式分割(1株→4株)を考慮すると29円となりますので、年間配当金は前期から22円増配の62円に相当します。

今後も収益の状況を勘案した安定的な配当に努めてまいります。

オルガノは創業以来、水に関わる最先端の技術を培ってきました。今後、世界的な人口増と社会経済の発展に伴い水需要の増加が見込まれる中、当社の事業領域や事業機会はグローバルに拡大していきます。

増大するニーズに応えるため、当社グループは引き続き、リソースの確保や人材の育成、サプライチェーンの強化に努め、またソリューションサービスや研究開発においては、設備の運転データなどを活用した新たなサービスの展開や、高度分離精製や次世代型超純水技術の深化など、新たなステージに向けた取り組みを進めてまいります。

当社の事業の本質は、環境負荷を低減する製品やサービスをお客様に採用していただき、お客様と社会の双方に貢献していくところにあります。オルガノは今後も、水の使用量や排水、廃棄物の量を削減し、省エネ・省資源効果のある製品やサービスの提供を続け、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年6月

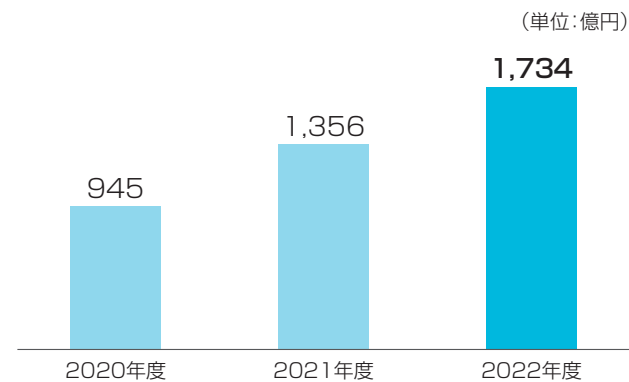


代表取締役社長 社長執行役員

山田 正幸

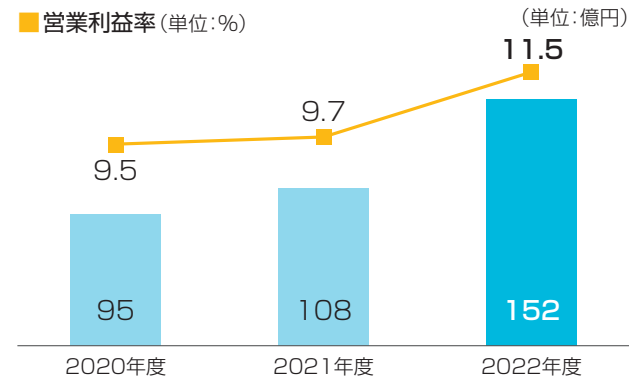
受注高

1,734億円 27.9%増(前期比)



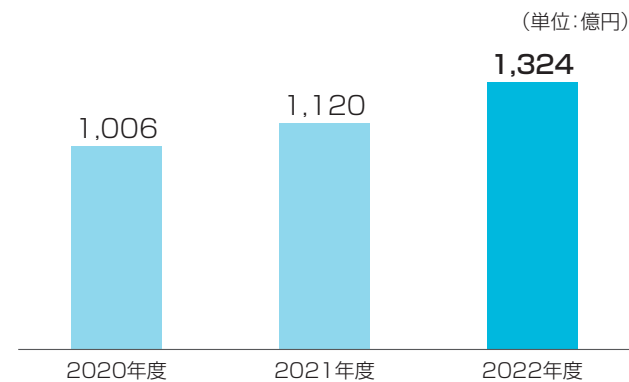
営業利益(率)

152億円 40.2%増(前期比)



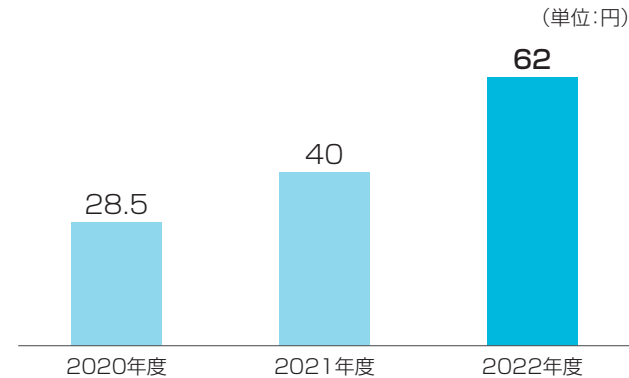
売上高

1,324億円 18.2%増(前期比)



1株当たり配当金

62円 +22円(前期比)

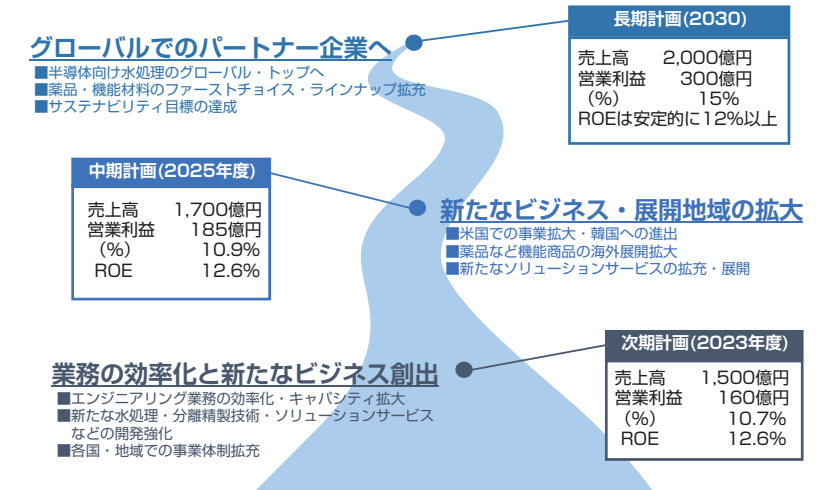


※配当金額は2022年10月1日の株式分割(1株→4株)を考慮した金額です。

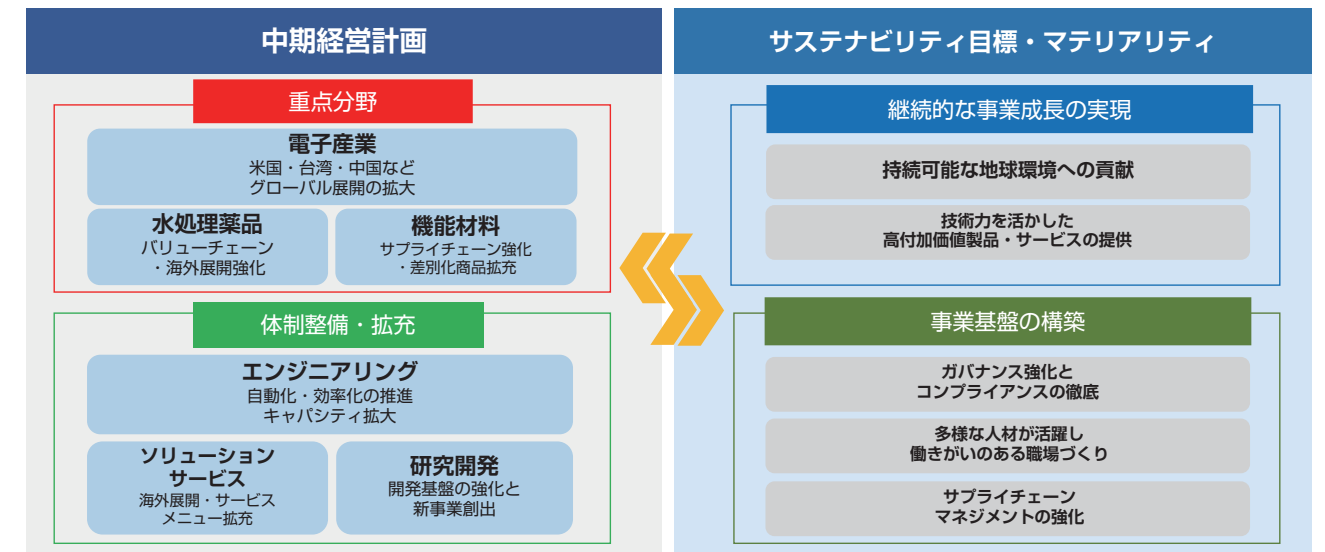
●サステナビリティと業績向上の好循環に向けて

- 中長期経営計画“ORGANO2030”での業績イメージの売上高2,000億円、営業利益率15%に向け本中期経営計画は新たなステージへの移行期間
- 重点分野拡大に向け、「エンジニアリング」「ソリューションサービス」「研究開発」の強化・拡充を図る
- サステナビリティ目標である「継続的な事業成長の実現」「事業基盤の構築」を進め、サステナビリティと業績向上の好循環を目指す

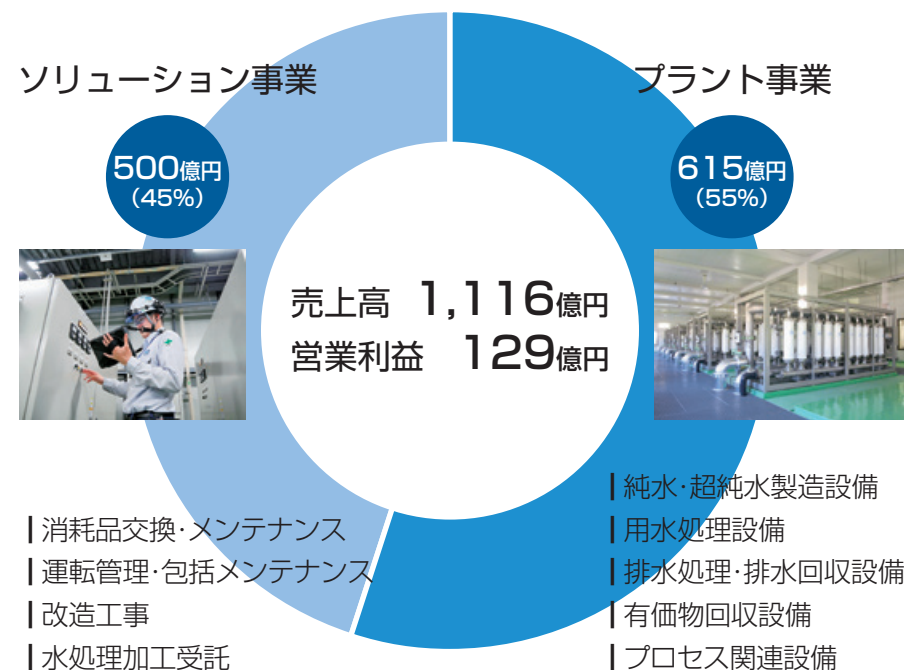
中長期経営計画“ORGANO2030” — マイルストーンのイメージ —



中期経営計画とマテリアリティ



水処理エンジニアリング事業



売上高は、電子産業分野で大型受注案件の工事が順調に進捗したことに加え、ソリューション事業が好調に推移したことから増収となりました。

利益面では、電子産業分野を中心とした売上拡大や大型プロジェクトの利益率改善により増益となりました。

電子産業分野
売上高 **754億円**

- 半導体
- FPD
- 電子部品

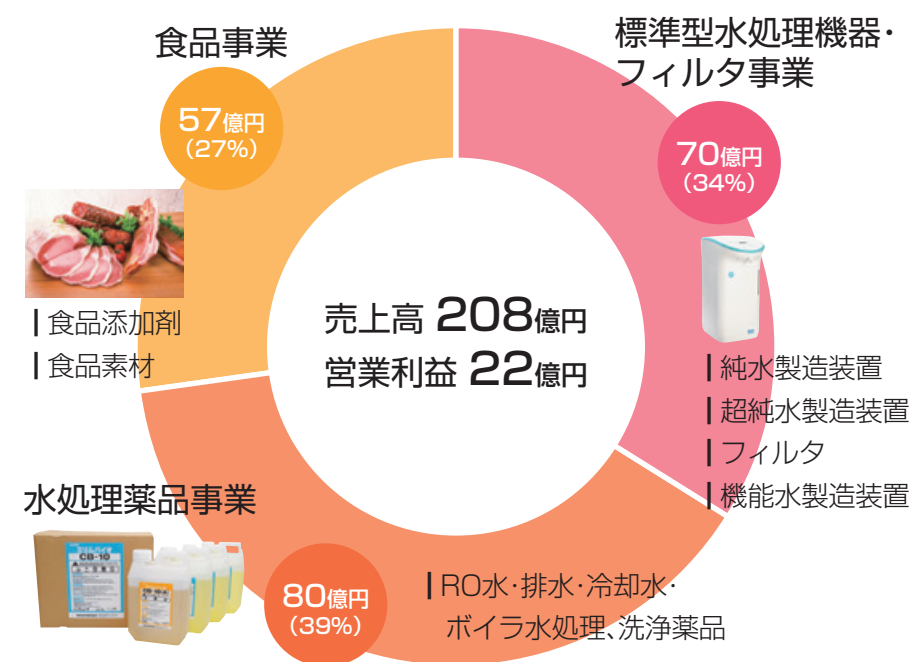
電力・上下水分野
売上高 **117億円**

- 発電所
- 浄水場
- 下水処理場

一般産業分野
売上高 **243億円**

- 医薬品／化粧品
- 食品／飲料
- 機械／素材／化学

機能商品事業



売上高は電子産業分野向け水処理薬剤の販売が拡大し、さらに標準型水処理機器・フィルタ分野の小型純水装置の販売も好調であったため、増収となりました。

利益面では、各分野で売上が拡大したほか、原材料価格の上昇などコスト増の価格転嫁が進んだことなどから、増益となりました。

標準型水処理機器・フィルタ事業

- 研究所／医療機関
- 各種工場
- 飲食店／コンビニ

水処理薬品事業

- 各種工場
- ビル
- 商業施設

食品事業

- 食品加工
- 飲料製造
- 介護食／健康食品



●個人投資家向け説明会



2022年8月24日、当社としては初めてとなる個人投資家向け説明会をオンラインで開催し、1,243名の方にご参加いただきました。開催後1週間のオンデマンド配信では1,481名にご視聴いただくなど、個人投資家の方々の高い関心を感じることができました。

1時間という限られた時間ではありましたが、事業概要や中期経営計画、サステナブルな社会へ貢献する当社技術、また「超純水とは？」などについて代表取締役社長の山田より説明し、参加者から多くのご質問をいただきました。

個人投資家のみなさまから当社に対するご関心やご理解をいただくきっかけとして、今後もこうした説明会を定期的に開催する予定です。

●開発センター新実験棟、運用開始



2022年8月、オルガノは開発センター(神奈川県相模原市)内に新設した実験棟2棟の運用を開始しました。新実験棟では、「次世代型超純水製造システム」と「有機溶剤の高純度化技術」の開発・検証を行います。

超純水は主に、半導体製造時の洗浄工程で使用されています。最新の半導体は、技術の進歩により微細化が進んでおり、配線幅がナノメートル単位と狭く、使用される超純水には更なる高純度化が求められています。

また、電子材料や二次電池(リチウム電池)などの製造に使われる有機溶剤を高度に精製・回収する技術は、製品の品質や生産性向上への貢献が期待されています。

オルガノは当社の強みである「分離精製技術」を磨き続け、水処理における先端技術の提供と、新たな分野での価値創出に取り組んでまいります。

●省エネ大賞、3年連続4度目の受賞

オルガノは「冷却水処理のDXによる省エネソリューション【オルスマートCW】」により、2022年度省エネ大賞 資源エネルギー庁長官賞を受賞しました。当社が省エネ大賞を受賞するのは、3年連続4度目となります。

ビルや工場の大型空調などに採用されることの多い冷却水。その主な障害のひとつに、微生物由来のスライムがあります。スライムの発生は電力ロスにつながるだけでなく、周辺環境や気温の条件により急激に増殖すると、高圧カット(強制的な運転停止)を引き起こします。

オルスマートCWとは、冷却機の温度データをリアルタイムで監視し、AIと遠隔管理システ

ムを用いて、スライムの増殖を抑える薬品の投入を迅速に自動制御するサービスです。これによって運転環境を常に最適に保つことができ、年間を通じた省エネルギーと安定稼働が可能となります。導入事例では電力ロスを40.3%削減しました。

冷却水の処理は空調をはじめとする様々な製造現場で必要とされており、このサービスは幅広い分野の省エネルギーに貢献するものです。

オルガノは今後も、企業価値向上に資するこうした省エネソリューションの開発に挑戦してまいります。



連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前期末 (2022年3月31日現在)	当期末 (2023年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	102,862	136,765
固定資産	27,644	28,088
有形固定資産	20,995	20,795
無形固定資産	1,082	949
投資その他の資産	5,566	6,343
資産合計	130,506	164,854
負債の部		
流動負債	43,072	68,738
固定負債	11,429	9,744
負債合計	54,501	78,483
純資産の部		
株主資本	74,617	84,123
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	59,619	69,002
自己株式	△ 734	△ 613
その他の包括利益累計額	1,218	2,047
非支配株主持分	168	201
純資産合計	76,004	86,371
負債純資産合計	130,506	164,854

- 資産の部

仕掛品や売掛金の増加などにより、34,348百万円増加しました。
- 負債の部

長期借入金が減少したものの、短期借入金の増加などにより23,981百万円増加しました。
- 純資産の部

親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより10,366百万円増加しました。
- 営業活動によるキャッシュ・フロー

18,536百万円の資金流出となりました。主な資金増加は税金等調整前当期純利益によるものであり、主な支出は売上債権及び契約資産、棚卸資産の増加によるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー

1,309百万円の資金流出となりました。主な支出は有形固定資産の取得によるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー

14,706百万円の資金増加となりました。主な支出は配当金の支払いと長期借入金の返済によるものであり、主な資金増加は短期借入金によるものです。
当期末の現金及び現金同等物は前期末に比べ4,639百万円減少し、15,558百万円になりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)	当期 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで)
売上高	112,069	132,426
売上原価	83,556	97,449
売上総利益	28,512	34,976
販売費及び一般管理費	17,662	19,763
営業利益	10,850	15,212
営業外収益	924	978
営業外費用	229	170
経常利益	11,545	16,020
特別利益	1,185	46
特別損失	35	31
税金等調整前当期純利益	12,696	16,035
法人税等	3,470	4,270
当期純利益	9,226	11,764
非支配株主に帰属する当期純利益	15	34
親会社株主に帰属する当期純利益	9,210	11,730

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)	当期 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,787	△ 18,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,520	△ 1,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,586	14,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	398	500
現金及び現金同等物の増減額	7,079	△ 4,639
現金及び現金同等物の期首残高	12,804	20,198
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	314	－
現金及び現金同等物の期末残高	20,198	15,558

会社概要

商 号	オルガノ株式会社 (英文 ORGANO CORPORATION)
本 社	〒136－8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号
創 業	1946年5月1日
資 本 金	8,225,499,312円
従 業 員 数	連結2,506名 (単体1,085名)
事 業 内 容	当社は総合水処理エンジニアリング会社として、イオン交換樹脂、分離膜、活性炭等を使用する各種用排水処理装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理アウトソーシング受託並びに各種薬品、食品加工材の販売を主な事業としております。

主要な事業所

開発センター	相模原
工 場	つくば、いわき
支 店	北海道、東北、関東、中部、関西、中国、九州

主要なグループ会社

連結対象子会社	
国内	海外
オルガノプラントサービス(株)	Organo(Asia)Sdn.Bhd.
オルガノフードテック(株)	奥加諾(蘇州)水処理有限公司
オルガノエコテクノ(株)	奥璐佳璠科技股份有限公司
オルガノアクティ(株)	Organo(Thailand)Co.,Ltd. PT Lautan Organo Water Organo(Vietnam)Co.,Ltd. Organo USA, Inc.
その他グループ会社	
国内	海外
(株)ホステック	Organo(Singapore)Pte Ltd
東北電機鉄工(株)	

取締役・監査役 (2023年6月29日時点)

代表取締役社長	山 田 正 幸
取締役	中 山 泰 利
取締役	須 田 信 良
取締役	本 多 哲 之
社外取締役	照 井 恵 光
社外取締役	平 井 憲 次
社外取締役	和 田 守 史
社外取締役	安 部 大 作
社外取締役	花 野 信 子
常勤監査役	田 實 嘉 宏
社外監査役	樋 口 達
社外監査役	児 玉 弘 仁

執行役員 (2023年6月29日時点)

社長執行役員	※ 山 田 正 幸
常務執行役員	※ 中 山 泰 利
常務執行役員	※ 須 田 信 良
常務執行役員	※ 本 多 哲 之
常務執行役員	浅 野 伸
常務執行役員	富 沢 真
常務執行役員	久 木 崎 誠
執行役員	國 枝 達 也
執行役員	島 田 健
執行役員	秋 元 英 良
執行役員	小 池 省 次 郎
執行役員	吉 田 晃
執行役員	雨 宮 徹
執行役員	江 口 正 浩
執行役員	笠 原 里 志

※は取締役兼務者です。